

令和4年度 第1回 飯山市地域公共交通会議 顛末

令和4年5月18日（水）14時00分～15時30分
飯山市役所 4階 第1～4委員会室

1 開会（進行：総務部長）

2 会長あいさつ（市長）

当地域においても公共交通機能の維持、利用促進は、喫緊の課題と認識をしており、地域全体で連携した取り組みを一層推進してまいりたい。

本日の議案1点目は、飯山市地域公共交通計画の素案についてで、これについては、昨年度から6回にわたり、幹事を皆様によって熱心にご論議をいただき素案として全体会に提案をする。より良い計画とするため、皆さまにご審議をお願いしたい。

その他、地域間幹線等にかかる計画承認案件2件と合わせてよろしくをお願いしたい。

3 協議事項（進行：会長）

（1）飯山市地域公共交通計画（素案）について 資料1

（事務局より経過報告）：前回10月27日に開催させていただいて以来、蔓延防止等重点措置の実施等により会議の開催を延期し、また幹事会でご指摘いただいた事項等について庁内の協議に時間を要してしまい、今回年度を改まったの開催となった。

幹事会については合計6回開催し、幹事の皆様には、当初予定を超える回数の会議に出席いただき、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

（幹事長より経過報告）：当初の予定を超える回数の幹事会の開催になり、本計画素案をこの会議にお出しするのが、年度を超えてしまったが、その分、じっくりと時間をかけて、幹事会の皆さんとともに、計画をまとめることができたのではないかと考えている。

計画の策定に当たっては、1,500人近くの市民アンケートをはじめ、高校生・高齢者・交通事業者・市バスの利用者・観光事業者・観光客とさまざまな視点からこのようなコロナ禍にもかかわらず、非常に多くの公共交通に対するご意見をいただいた。

そこから導かれた課題を整理し、資料1の28、29ページにもある飯山市が公共交通で目指す将来の姿というものを示すことができた。

また、この目指す姿をつくり上げるための合計22に及ぶ施策、その施策一つひとつに幹事会メンバーの公共交通に対する思いや、夢といったものが込められている。

個別・具体的な施策は推進スケジュールに沿ってこれから進めていく形になっているが、これをただ単に、理想像として終わらせるのではなくて、資料1の54ページのところにも記載があるが、本日まで出席の皆さんにもぜひ自分事として捉えていただき、今年度から

本格化する施策実施にご協力をいただきたい。

別紙、資料1を事務局が説明

質疑応答：特になし

(会長)：内容については、幹事会の方でかなりしっかり詰めて頂いたと感じている。本日、この素案を皆さまに承認を頂き、素案を「案」として「飯山市公共交通計画案」にし、その後、パブリックコメントを求めたいと考えている。

この素案の内容を承認することで、異議なしでよろしいか。なければ拍手で承認をいただきたい。〈異議なし〉

⇒承認

(会長)：それでは、パブリックコメントと今後の進め方について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)：今後の予定について、本日の素案の内容は一通りご説明したが、今後お気づきの点等があれば5月24日、火曜日までに事務局までご連絡をお願いしたい。

いただいた内容について事務局の方で計画の内容を修正が必要と判断した場合には修正を行い、その後修正したものを委員の皆様へ送り、パブリックコメントを実施したいと思っている。

今のところパブリックコメントは、5月下旬から6月下旬の1ヶ月を予定している。

パブリックコメントで特段意見がなかった場合や、軽微な字句の修正など、計画の内容に大きな影響を与えない修正の場合には、その旨を委員の皆様にご報告し、そのまま公共交通計画を確定したいと考えている。

また、パブリックコメントの結果、多くの修正が必要となった等、皆様にご協議いただく必要がある場合は改めて、この会議を開催するのでその際には、ご足労いただきたい。

(会長)：只今の事務局からの今後の進め方についての説明では、計画案についてはパブリックコメントを実施し、その結果内容に大きな影響を与えない修正や一部の修正など軽微な修正を行う場合はその旨を委員の皆様にご報告をし、その際にはこの会議は開催せずに本計画を確定したいという事だが、事務局の只今の提案で皆さんよろしいか。

〈異議なし〉

(会長)：それでは、そのように進めさせていただくのでよろしくをお願いしたい。

(2) 地域間幹線系統確保維持計画の承認について 資料 2

別紙、資料 2 を長電バス(株)が説明

質疑応答

(委員) 市町村の負担について、野沢線は 3 市村、中野木島線は 2 市だが、市町村の負担割合は何割か。

(長電バス(株)) 各市村の負担は、それぞれの市村にかかる運行距離によって、その割合で按分している。

(会長) 他にご意見等なければ、異議なしでよろしいか。〈異議なし〉

⇒承認

(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について 資料 3

別紙、資料 3 を事務局が説明

質疑応答

(委員) 確認だが、2 ページの目標と実績のなかの実績で小境線が 1.5 人、温井線は 2.4 人ということだが、小境線と温井線は続いている数値なのか、別々の数値なのか。

(事務局) 別々の路線で、それぞれ数値を出している。

(会長) 他にご意見等なければ、異議なしでよろしいか。〈異議なし〉

⇒承認

4 その他

(委員) その他として、岡山地区では、主に下の方では JR 飯山線、上の方はバスが主に通っており、雪が深くなると戸狩野沢温泉駅まででその先は運休という形が多いという事がある。そういった時に飯山線のそれぞれの駅に対し、臨時バスとかそういったものを今後やっていただけるような運行方法の計画を立てていただきたい。

(会長) : ご意見をいただいた飯山線の関係については、地域公共交通計画の中では飯山線は非常に重要な交通機関であり、飯山線については、飯山線沿線の自治体で活性化協議会という組織があるので、その会議の中で検討していきたいと考えている。

5 閉会 (15 : 30)